

平成28年度 学校だより



平成28年6月3日(金)
御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

No.3

E-mail:

onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp

雑草から学ぶ

花壇に咲くきれいな花たちは、いつも名前と呼ばれることが多く、マリーゴールド・サルビア・ヒャクニチソウ・ニチニチソウなどは皆さんがよく知っている花です。でも雑草たちは、いつも一括りにされ「雑草」と呼ばれることが多いです。植物図鑑を見れば、雑草一つ一つに歴とした名前があるのに。さらに、人間目線で見ると、ここそこにやたら生えてくる邪魔なものとしか思われていません。ときどき散歩すると、道端の草にじっと目を凝らすと可憐な花を咲かせていて、目を奪われるときがあります。ぼくだってここにいるんだよと言っているように。

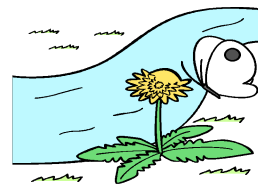
雑草は、花壇の花のように水も栄養ももらえず、降る雨をひたすら待ち、地中に自分で根を生やし栄養を探し必死で生きています。その逞しさは花壇の花の何十倍もあります。また、踏みつけられても踏みつけられても葉を起し逞しく生きる生命力に感心させられます。そんなときに思い出す歌があります。それは「たんぽぽ」という歌です。

♪ たんぽぽ 【作詞】カドクラ サトシ 【作曲】堀越 浄

1. 雪の下の 故郷の夜
冷たい風と 土の中で
青い空を 夢に見ながら
野原に咲いた 花だから
どんな花より たんぽぽの
花をあなたに おくりましょう
どんな花より たんぽぽの
花をあなたに おくりましょう

2. 高い工場の 壁の下で
どれだけ春を 待つのでしょうか
数えた指を 優しく開き
空き地に咲いた 花だから
どんな花より たんぽぽの
花をあなたに おくりましょう
どんな花より たんぽぽの
花をあなたに おくりましょう

3. ガラスの部屋の ぼらの花より
嵐の空を 見つめつづける
あなたの胸の 想いのように
心に咲いた 花だから
どんな花より たんぽぽの
花をあなたに おくりましょう
どんな花より たんぽぽの
花をあなたに おくりましょう



この歌の中には、雑草「たんぽぽ」のもつ「強さ」「逞しさ」「優しさ」が込められています。そんな雑草のもっているよさを「どんな花よりたんぽぽの花をあなたに贈りましょう」と願いを込めて歌っているのです。一人ひとりの子どもにも必ず花があり、それを認めてもらおうと、頑張っているのです。だから、足を止め、その小さな花にきちっと向き合い、「とっても素敵な花だね」と声をかけてあげてほしいのです。そして、明日へのエネルギーとなっていくのです。(文責：竹原一人)